

編集後記

今年の夏、インドネシア国の首都、ジャカルタ市の中心都市部で、抜本的な洪水対策事業として、我が国の推進技術を導入した大規模な放水管路築造工事が着工する。我が国の高度な推進技術の海外進出にとって、輝かしい1ページとなることは確かだ。これを一つの契機として、インドネシアを始め、ベトナム、マレーシア、カンボジアなど、人口数百万のメガ都市が求める排水基盤整備において、日本側の円借款などの資金支援の下、我が国が誇る世界最高水準の推進技術が海外での評価を高め、適用の場が飛躍的に広まることを期待できそうだ。

だが、ここでは推進技術の“海外進出”という表現は使わず、“海外定着”をしたい。過去、日本の推進技術による海外施工事例はいくつかある。しかし、それらはあくまでも“その場限り”であって、系統立てた技術移転の成果はなしえていないと言えるものだ。“単発的”な技術進出であって、相手国、日本にとっても“一過的”なことに過ぎない。日本の推進技術により、当時の現地、相手国内にあっては、相当程度難度の高い推進工事が無事上首尾に完工できたとしても、そのことにより現

地での推進技術の進展に繋がったこともなく、日本の推進企業の業務進展に繋がったこともない。まさに、“単発火花”でしかなかったと言える。

しかし、今日、相手国側の状況は様変わりだ。ジャカルタにしても、ハノイ、ホーチミンにしても、さらなる経済発展の下、国際的近代都市に進化してゆくには、しっかりとした排水基盤の整備は必須命題となった。政治、行政としても、これ以上の水環境悪化は拒絶、回避しなければならない焦眉の国家的課題となっている。だが、その達成に向けたハードルは、極めて強固で高い。都市の上部構造（商用・住居用高層ビルの林立）があたかも無秩序に発展し、都市内道路をみれば、公共交通機能整備の脆弱性に加え、一部都市住民の所得向上から、従前の二輪車から四輪車への乗換えが進めば、朝夕の通勤時に限らず深夜の時間帯を除く昼夜通じた渋滞が恒常的となっていく。ここでは、路上交通を遮断し、開削手法で排水管路を敷設することなど、至難と言うより、論外と言ったものだ。そこで注目されたのが、多様な地盤条件の下、自在に長距離推進や曲線推進を実現させた我が国の高度な推進技術だ。

東南アジアメガ都市の排水基盤の骨格を非開削推進工法で一気に整備するとなれば、一過性の技術進出では用を成さないし、相手国にとってもそうであってはならない。息の長い整備プロジェクトであれば、外人部隊の傭兵では対応できない。当然、現地戦力が主力とならなければ対処できない。その現地戦力の育成こそ、我が国に期待される支援そのものだ。そのためには、我が国が培ってきた高度な推進技術の汎用的な部分は、すべて現地に定着させることが必要条件となる。

“そんなことをしたら、我が国の推進技術はすべて相手国側に盗まれ、日本の推進企業が参画できる業務、飯の種が無くなってしまう。だったら、元も子もない”と言った苦言が聞こえそうだ。だが、そんなことは絶対にない。一つひとつの推進工事は、地盤条件、施工環境、設計内容など、何をとっても同一なものはない。そこには、汎用推進技術に加え、どうしても高度、固有な技術対応が求められる。そのコア技術こそ、我が国推進企業の財産・切り札だ。

〈編集委員長 石川和秀〉

No-Dig Today

No.88 2014 Jul. 平成26年7月1日発行

編集：「No-Dig Today」編集委員会
編集企画小委員会
発行所：JSTT 一般社団法人日本非開削技術協会
〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18
西村ビル3F
TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975
発行人：安中徳二
印刷所：株式会社 LSプランニング

● ご案内 ●

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、当協会webサイトから、またはJSTT事務局まで直接お申し込み下さい。
○購読料（税込み）

1冊 1,620円（本体1,500円）〒400円
1ヵ年（4冊）6,480円（本体6,000円）〒1,600円

◇発行

年4冊：4・7・10・1月の1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。

◇投稿

・技術論文

非開削に関連する技術、製品についての論文を募集しています。

投稿論文は、委員会にて選考の上掲載論文には薄謝をお送り致します。

◇情報のご提供について

・No-Dig NEWS ダイジェスト

非開削技術に関連する新技術、新製品、図書の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2014 Printed in Japan / ISSN 1348-9194

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。